

令和5年度 第1回 伊予市部活動の地域移行に関する検討会議 会議録(概要)

日 時:令和5年6月19日(月)19時～21時

会 場:市役所4階大会議室

参加者:21人

各校の部活動の状況

資料を基に説明

令和5年度の方向性(計画)

- ・地域スポーツ活動体制整備事業費県補助金を活用した先進地視察の実施
⇒令和3年度から地域移行を実践している東かがわ市での視察を予定している。
生徒の移動にスクールバスを使って、3中学校合同で部活をしている。休日は部活動と切り分けて地域クラブ活動を実施している。
- ・市予算によるボランティア指導員の保険加入
- ・地域移行の伊予市の目標点の設定とモデル事業の実施部活の決定
- ・(次年度以降)研修制度の充実。ボランティアが参加する研修会への参加費用の補助
- ・ボランティア指導員への謝礼について精査

意見交換

- ・市町の役割は方針や取り組み内容、スケジュール等を市民や保護者に周知することである。その場合、例えば、「土日だけでも地域に」とか、「最終的には地域クラブ移行型を考えているが最初は部活動維持型でやっていく」とか、市としての考え方を固めてないと周知しづらい。
- ・最終的な目標は、今の段階では、「休日の部活動は地域に出す」が国や県の目標である。そこに向けては課題がたくさんある。その過程の期間や方法については様々な形があっても良い。
- ・地域移行した場合、クラブチームとしての受け皿はあるのか？
⇒伊予市だけで作れない種目があれば、圏域とか松山でしかできない種目が出てくる可能性もある。
- ・地域移行の可能性のある部活動から始めていけば良い。
- ・部員が1人だから(すぐに)なくすというのはやめてほしい。
- ・現存する部活動に地域人材を活用しながら進めていくという方法を選択した場合の教員の継続要望は？
⇒前回の教員アンケートでは、9割は「兼業したくない」だが、協力できる方は活用したい。
- ・現存する部活動の顧問を外部指導者として休日の練習をする等から始めると良い。
- ・県方針では、R8年度からは教員としての立場で部活動に当たるのをゼロにする予定である。

- ・休日については、教員は兼職兼業をかけて地域クラブの指導者となるのが目標である。
- ・指導者として大学生を活用したい。県の学生派遣事業について説明してほしい。
⇒県は国の委託を受けて3地区で愛媛大学生の派遣事業を検討している。トータル時間数は決まっているが、人数等は決まっていない。顧問にサポートしてもらいながら実施したい。種目を決めてもらえれば、県と大学で質の担保をする為の契約を整えている。1モデル地区に1部活で計画している。1人分の時間数を自由に運用してよい。
- ・剣道、柔道などは個人種目であり、伊予市の特徴的な競技であるので、今後、団体に願いますべきところはお願いしたい。
- ・吹奏楽は実施内容が各学校で違う。音楽は1つのステージを目指して練習を積んでいく地域クラブ移行型のような形がイメージしやすいと思う。練習場所や楽器の確保が課題である。
- ・将来的には、やりたいことをできる事が理想である。他校で実施する場合は移動が課題となる。
- ・男子バレーで大学生指導者のモデルケースを実施したい。先生にも協力いただきたい。他校の生徒も参加可能にしたい。移動については現時点では保護者に依頼するしかない。
- ・地域移行を進めるためには人集めが重要である。保険や謝金など、指導者の保障も必要である。指導者に補償をしないと、ボランティアかつ無保険では難しい。人間形成や救命救急、ハラスメント等の研修も必要である。現在の部活動は、熱意のある先生に頼っている状態である。長期的には地域移行して、土日は教員が部活動につかなくてよくなるようになると良い。
- ・部活動が変わっていくという認識は、教職員全員が持たなければいけない。
- ・何の為に地域移行を検討しているか、皆様に理解してもらった上で進めていく事が重要である。
- ・説明が必要であれば、学校へ行って説明もするが、文科省からも資料が出ているので、各学校においては校長から教員にある程度説明をして、学校の意見を持ってもらいたい。
- ・新たなモデルの提案があれば、実際にやってみることも可能である。
- ・最終的には子供のために知恵を出しあっていかなくてはいけない。それぞれの立場で様々な意見を出していただき、修正を加えながら伊予市としての方向性を検討していきたい。